

## 淡路島内における神戸淡路鳴門自動車道の利用のお願い

四国と本州を結ぶ神戸淡路鳴門自動車道は、全線が開通して 27 年が経過し、利便性や迅速性が飛躍的に向上したことで、四国の観光や物流・産業等の様々な分野で本州はもちろん淡路島との交流促進に役割を果たしており、今後更なる経済、生活、文化の発展が期待されているところです。また、淡路島民にとっても、四国と本州を往来する輸送車両が淡路島内の一般道路を通行することが少なくなるなど、島内の生活環境の向上が図られつつあります。

しかし、その一方で、近年の運送業界の競争激化等を背景に、高速道路料金を節約するため、本州と四国を往来する大型車が、神戸淡路鳴門自動車道の淡路島内全線を利用せず、国道 28 号や西浦県道（兵庫県道福良江井岩屋線（兵庫県道 31 号））等を迂回している状況が未だに見受けられます。

特に、西浦県道につきましては、人家連坦部もあり、生活道路としての利用が多いことから、大型車の通行により淡路島民の交通・生活環境に悪影響を及ぼす状況となっています。

また、近年では、国道 28 号や西浦県道が、淡路島の外周を 1 周する約 150km の全国でも代表的なサイクリングコース（アワイチ）となっていることや、西浦県道沿線の観光開発が活発化していることから、通行に不慣れな観光客（自転車・歩行者）が増加しており、今後、重大な交通事故の発生が懸念されます。

つきましては、未然に交通事故を防止し、淡路島民、サイクリスト、観光客等の安全・安心の確保のため、貴協会会員様におかれましては、四国と本州を往来する際、淡路島内の一般道を利用せず、神戸淡路鳴門自動車道の淡路島内全線の利用を促していただきますようお願いいたします。

令和 7 年 8 月 29 日

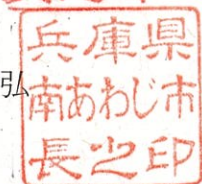
兵庫県淡路県民局長 川井 史彦



兵庫県洲本市市長 上崎 勝規



兵庫県南あわじ市長 守本 憲弘



兵庫県淡路市長 戸田 敦大

